

大 塚 人

2005-39

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局 / TEL・FAX 092-714-1681
発行人 安藤文六
編集人 平島文憲
<印刷> 福岡総合印刷株式会社

母校の発展を祈る!!



大濠高等学校 同窓会会長
安藤 文六

同窓会々員のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。

五月に行なわれる同窓会総会は、会員が一緒に集まる唯一の機会です。たくさんの方々にぜひ集まっていただきたいと思っております。集まるなから、同窓会の新たな課題もはっきりしてきますし、将来への展望も確かなものになっていくものと思っております。また会員同士のつながりも広まってまいります。それが、きっかけとなり各クラスで開いているクラス会も一層充実したものとなってまいります。

現在、同窓会では、「特別会員」を募り運営の充実を目指し、努力しております。この特別会員制とは、年間に一口一万円以上を拠出していただき、それを基金といたしまして、スポーツクラブあるいは、文化クラブの生徒へ奨学金等の援助を行い、それぞれの生徒が、最高に「力」を発揮できるように同窓会から力添えをするものです。

奨学金等の援助は、剣道部・駅伝部・バスケット部・バレー部・野球部・パドミントン部等へ行っております。将来は、援助できるクラブ数が増えればと願っております。この「特別会員」の運営の充実を図るためには、会員数を増やさねばなりません。

その為には、現在の会員が、少なくとも二人もしくは、三人の方へ入会を勧誘していただきたいと思っております。

また、「特別会員」に加入していただければ、会員同志の懇親会にご参加いただけます。懇親会の時には、講演やミニコンサートも開催いたしております。

「特別会員」の輪を拡げる事に、みなさんのお力をぜひお貸し下さい。なお特別会員に関するお尋ねは、同窓会事務局へ連絡していただければ詳しく、わかるようになっております。

同窓会では、会員の把握に力を入れております。しかし、勤務先の人事異動や、転居等により、住所がわからなくなる場合が大変多く見られます。郵便物が届かず連絡が取れない会員が多数います。このような状況は、少しでも無くしたいので住所の移動等あった場合には、同窓会事務局へご連絡下さい。

また同窓会の年会費の納入の方もよろしくお願いたします。同窓会の会員数も増えてまいりました。このような同窓会を支えていくために、組織の充実も急がれます。時間的にゆとりのある会員には、ぜひボランティアで同窓会のお世話をお願い致します。

同窓会が発展していくには、クラス会、同期会あるいは、サークルごとのOB会等の開催が欠かせません。それぞれの会の活躍を期待いたします。



平成十六年度玉竜旗高校剣道大会

優 勝



前進する 大濠



大濠高等学校 校長
家 宇治 輝 太 朗

同窓会の皆様には常日頃から、本校の発展のために「尽力いただき誠に感謝申し上げます。さて、本校が昨年来から主張してきた「福岡地区私立高校統一入試」問題につきましては、同窓生の皆様方に大変「心配もかけ、また力強く応援もしていただきました。感謝申し上げます。おかげさまで本校の主張どおり、前期試験に合格しても、後期試験にも他校を受験できる」ということが、平成17年度の福岡地区私立高校すべてで、新しい入試制度の下で、実施されることになりました。九大の先生を委員長とする、公立中学、私立高校関係者からなる「入試制度検討委員会」での答申を福岡地区のすべての私立高校が受け入れたのです。この結果、受験生の「入れる学校」選びから「入りたい学校」選びへの選択がより強まったこと、また私立、公立問わず各学校の教育力の切磋琢磨が本格化していく等があげられます。本校といたしましても、今まで以上に、「質実剛健」、「明朗闊達」、「文武両道」の建学の

精神にそって、学校教育に邁進する所存です。次に「本校校舎の建替え」についてふれたいと思います。現在使用中の「体育館」「高校校舎」は、築40年は経過しており、特に「体育館」は、昨年の台風でもひどい雨漏りがする等、老朽化が目立っていました。丁度、九大が元岡地区に移転することになり、六本松の九大跡地に本校が移転できればと、ずいぶん運動もいたしました。同窓生である、首長、各種議会の議員の皆様方のご支援、ご協力もあり、「行政」「地域」の皆様方の応援もいただきました。しかしながら諸般の事情もあつて、残念ながら、六本松の九大跡地への本校の移転は、断念いたしました。現在地での「本校校舎の建替え」を進めることにし、校内に「校舎建築委員会」を立ち上げ、精力的に会合を重ね議論を進めてまいりました。一方、法人福岡大学とも鋭意会合を重ね、法人福岡大学の「中長期計画」に「本校校舎の建替え」が認められるところまできました。私としましては、早期着工を目指して、これから、福岡大学法人と協議を重ねたいと考えております。こまめくるには、安藤文六同窓会長さんをはじめとする同窓会の皆様方の物心両面の多大なるご支援ご協力の賜物であると厚く感謝する次第です。なお一層気を引き締めて、「元氣ある男子進学校」として力強く前進していきますので、同窓生の皆様方のご支援宜しくお願ひいたします。私の挨拶といたします。



地下鉄七隈線開業
2月3日

今春大学入試速報！

防衛医科大学校合格

三嶋 耕司君（大濠中出身）

防衛大学校 十三名合格

関関同立 続々と合格者

二月二十日現在

OHORI HIGHSCHOOL O.B. NETWORK

目次

- ・本部からのお知らせ
- ・会報バックナンバー
- ・学校の近況報告
- ・大濠人紹介
- ・掲示板

福岡大学附属大濠高等学校同窓会ホームページ
<http://www.ohsa.jp/>

十六年度の 大濠スポーツ

剣道部大旗奪還

本年度の母校で特筆すべきはやはり剣道部の玉竜旗優勝であろう。

平成十六年度玉竜旗高校剣道大会は七月二十九日マリンメッセ福岡で決勝戦を実施。大濠が岡山倉敷高校を下し、十一年ぶり、四度目の優勝を飾った。先鋒・梶原宗一郎(三年)の一勝一分けで先行、副将・村岡将和(三年)が倉敷の大將からメン・コテを立て続けに奪う完勝で決着をつけた。昨年関門海峡を渡った玉竜旗を大濠が奪還した。

その他、バスケットボール部・バレー部・バドミントン部は相変わらず県内に敵なしの状況で、柔道部も名門復活を遂げた。サッカー部、軟式野球部も常に県での優勝を狙える位置にある。テニス部は九州・山口のウインタージュニア・ダブルスで、初の優勝を果たした。駅伝部は、地区大会で思わぬ苦戦を強いられ、県大会での雪辱もならず、またしても都大路は遠かったが、来年度は期待の新人をむかえ、復活を期すことであろう。硬式野球部は福岡地区新人戦で久し振りの決勝に進出、新年度が大いに期待できる。

十七年入試状況

九大法学部A入試三名、早大指定校推薦四名など

本年度も入試状況は極めて順調である。防衛大学一次合格者六十五名(現役のみ)。指定校推薦は早稲田大学の四名をはじめとして、立命館大学も四名、スポーツ推薦も含めると、中央大学は六名、明治大学は五名、指定校推薦全体では三十二名。スポーツ推薦が十七名。AOや一般推薦が二十六名。福

岡大学は全ての推薦をあわせて九十三名。国公立大学のAO・推薦関係は九州大学法学部三名の他、山口大学二名、横浜市立大学一名、北九州市立大学一名。

この記事を書いている現在は一月二十五日、国公立大学の出願が始まる日である。まだ私大入試も本格的には始まっていない。学校では昨日から、国公立二次対策および私大対策の授業が始まって、最後の追い込みの時期である。そんな時期に既に前述のように進学先を決定した者も数多くいる。現役の生徒諸君は、この記事が出るころ、卒業式をむかえ、私大の合格発表はあらかた終わり、国立前期の合格発表を待っているという状況であろうが、先輩らが築いてきた伝統を守り、大濠魂を胸に、最後の最後まで頑張っただけの思いものだ。

大濠高校前年大学合格実績

| | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 国立大学 171名 | 熊本大学 10名 | 準大学 37名 | 立命館大学 65名 |
| 東京大学 2名 | 鹿児島大学 11名 | 防衛大学校 32名 | その他 55名 |
| 京都大学 4名 | 山口大学 10名 | 水産大学校 3名 | 《関東地区》 |
| 大阪大学 3名 | 広島大学 5名 | その他 2名 | 早稲田大学 31名 |
| 神戸大学 4名 | その他 22名 | 私立大学 989名 | 慶應義塾大学 14名 |
| 北海道大学 4名 | | 《九州地区》 | 上智大学 1名 |
| 東北大学 2名 | 公立大学 18名 | 福岡大学 328名 | 東京理科大学 17名 |
| 横浜国立大学 3名 | 北九州大学 6名 | 西南学院大学 66名 | 明治大学 20名 |
| 電気通信大学 2名 | 九州歯科大学 1名 | その他 151名 | 青山学院大学 9名 |
| 筑波大学 2名 | 横浜市立大学 1名 | 《近畿地区》 | 中央大学 17名 |
| 九州大学 42名 | 東京都立大学 1名 | 関西学院大学 18名 | 法政大学 7名 |
| 九州工業大学 15名 | その他 9名 | 関西大学 22名 | 芝浦工業大学 8名 |
| 佐賀大学 11名 | | 同志社大学 32名 | 日本大学 15名 |
| 長崎大学 19名 | | | その他 77名 |

「大濠人」訪問



筑紫女学園高校陸上部 河村 邦彦 監督

久しぶりに「大濠人」訪問インタビューをおこなった。今回は筑紫女学園高校陸上部監督の河村邦彦氏(六十四歳、第五回卒)をお訪ねした。河村氏は大濠高校を卒業後、福岡大学に進まれた。高校・大学を通じて陸上部に所属され、大学時代は二度の九州地区の大学駅伝優勝を経験していらっしやる。

河村監督の指導者歴は、実はこの大学時代に始まる。大学時代、選手生活をしながら、母校大濠高校の陸上部当時駅伝部はまだ無いの指導にあたられた。河村監督が大学最後の年、指導した生徒達が全国大会初出場、初優勝を成し遂げた。昭和三十七年のことである。弱かった時代からの急成長を目の当たりにしたと、河村監督は当時を振り返って目を細めていらっしやる。

さて、大学卒業後は、福岡大学の職員として勤めていらっしやるが、昭和四十五年から筑紫女学園高校陸上部の指導にあたられ、平成三年からは、筑女に事務職員として勤めである。

その筑女の陸上部の全国駅伝大会での戦績をあらためて、紹介しておく。昨年末の大会で、十年連続十五回目の出場である。十五回のうち、十四回入賞。優勝三回、準優勝二回、三位一回と、なんととも輝かしい戦績である。

鯉川なつえ、宮崎安澄らをはじめとする数多くの優秀なトップランナーを育てられた。河村監督の指導のモットーは、目標に向かって努力することの大切さを生徒に理解させる。福岡は激戦区なので、追われる立場は相応きついうだ。二位との差がわずか十秒以内での優勝が四回もあったそう。全国大会優勝を期待する周囲のプレッシャーも常に感じていらっしやること。毎朝六時から、放課後は七時まで、厳しい練習だけが、それを跳ね返していく。苦労は多いが、それ故、勝った時の喜びは一人とは、河村監督。今後の目標は、とにかく、県で勝つこと。いい選手が揃えば、全国制覇もできる。筑女の快走はまだまだ続きそうである。

趣味は、酒、ストレッチ解消になること。一男二女は既に結婚されていて、今は奥様と二人暮らしだそうである。

最後に、今現在の「大濠高校」については、進学・スポーツともに実績を出し、母校として、誇りに思っただけのこと。さらに、後輩である駅伝部の諸君には、思い入れが強い分、相当厳しい評価であるが、とにかく、強く思い、努力すれば、思いは叶うはず、とのこと。復活を願っているのは、私だけではない」と力強いエールを送られた。

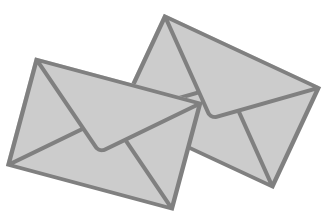
新刊! 『教育の発展のために』

末岡光臣著

末岡光臣先生は本校昭和三十五年(第七回)卒。東京大学を経て、東京大学大学院教育研究科を修了され、神奈川県・福岡県で、県立高校教諭として、三十四年の永きにわたり、教職につかれた。

本書は、その豊富な経験をもとに、様々な角度から、教育について著されたものである。副題として、福岡県の教育現場からの提案/ストップ・ザ・学校崩壊!とある。新風舎刊。

支部だより (各支部からの報告)



関東支部
東海支部

関西支部
鶴友会

大濠つつじ会
福大医学部

関東支部



この度、一〇月の関東支部年次総会で新支部長を拜命しました、八回生の徳島竜太郎と申します。前支部長の田中先輩同様、ご支援・鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

この支部の運営は、役員一同が話し、方向性や方針を確認して推進することを目的としており、そのため、支部規約の改正と改定作業を行っております。寧ろ、現時点に適合する事項や今後の運営形態に関する項目を簡潔・明瞭に改善すべく準備中です。

関東支部も今年で創立三三年になります。当支部は一部五県(埼玉・神奈川・千葉・栃木・茨城)の卒業生を対象に活動を行っております。しかし、広範囲な地域から卒業生を集めることは寧ろ困難といわざるを得ない中で、関東の地に居住を構えながら、大濠魂を抱いた一回生から直近の卒業生が一同に介する機会を持つことで、関東支部は発展してきました。この支部の目的は、会員間の親睦並びに異業種交流による情報交換により、年齢に関係なく忌憚のない意見交換が出来る場であり、時には、博多での思い出や、最近の世情や社会一般に於ける情報交換等を会員同志で語り合える癒しの場であります。

時には後輩から公私に渡り悩み事を相談出来る集合体でもあります。今後とも、会員相互間のより信頼関係を構築出来ることを目的としております。

出来る限り、月例会の形で毎月「交流会」を開催しております。月によっては本校より全国大会に参加される先生方に同席いただき、情報交換や激励の場としている場合もあります。

春には、「桜鑑賞会」を掘端で母校の幟を旗印に、夏には家族同伴旅行会の開催も継続して実施しております。常に「継続は力なり」をモットーに参加人員のバラツキはあっても実行しております。会員が参加し易い定例会を基本に、会員間の連携をより密に出来ることを目指しております。広範囲に卒業生の居住地は点在しておりますので、会の集合場所は都内の中心地(銀座・新橋・有楽町界隈)にしております。若い人が参加し易く、気軽に語合える場所等を選択しておりますので、関東近在の皆様方の参加を期待しております。

今後は、会員間の中に各分野のスペシャリストや経験者がいられますので、その方々の事例や経験を踏えて、勉強会、講習会や講演会等を開催して行く計画をしております。

例えば、経済状況・株価動向・海外市場動向・医療関連・ソフト関連・財務会計等について、レクチャー出来る人材を要しておりますので、会員の方々が少しでも異業種での視野を広げていただけるための定期的な交流会を目的としております。

二〇〇五年の基本方針は「笑顔で元気に語り合える支部会」を目標としていきます。

徳島 竜太郎

関東支部のみなさん



東海支部



記念すべき第10回東海支部総会は11月20日に名古屋栄のマルベリーホテルにて家宇治校長、村上元会長、本村副会長、関東支部の上野副支部長、関西支部の後藤支部長と衆議院議員の市村浩一郎氏を迎え、会員12名とともに盛大におこなわれました。

今回は第10回総会ということで幹事一同が事前に本部の資料をもとに名簿の整理と作成を念入りに行い、初参加の会員3名を含め12名の参加となりました。

さて総会は第1部の大田支部長の挨拶からはじまり、支部活動報告、会計報告、会計監査と滞りなく終わり、第2部の懇親会では家宇治校長の母校報告があり今年の運動部では、剣道部の玉竜旗優勝の報告があり、春の高校剣道に東海支部で応援に行った縁もあって盛りあがりしました。

その後は懇親会、お楽しみ抽選会があり今回も南部柔心先輩から貴重な絵画を多数提供いただきました。

そして懇親会も最後になり、待ちかねた市村衆議院議員も地元から駆けつけていただき地方支部でははじめての記念すべき第一声を東海支部に記されました。議員の活躍と東海支部の発展を祈念し第10回総会を無事終えることが出来ました。

関係者のみなさんお疲れさまでした。

東海支部のみなさん



連絡先・事務局
郵便番号 一六七 〇〇五三
東京都杉並区西荻南二 八二
有限会社 グリーンアップル内
大濠高等学校同窓会関東支部事務局
事務局長 田中隆弘(十九回生)
電話 (〇三) 三三三 三三〇一
携帯 〇九〇 三三三 五六〇六

事務局は、JR中央線 西荻窪駅(南口)の不動産屋です。卒業生で、大学入学等、上京される方は、御連絡下さい。
お部屋さがし、同窓会案内等いたします。

関西支部



関東・東海地方に比べて、景気回復が遅れている関西経済ですが、関西復権を目指して製造業等明るい兆が見えてまいりました。ご承知とは存じますが、関西支部管内で、大濠高卒業生初の国会議員(衆議院)市村浩一郎氏(第三〇回卒)兵庫(六区)宝塚市・伊丹市・川西市)が誕生し、国政の場で活躍しております。二期目当選を目指しての大健闘を期待しております。

関西支部の活動状況を報告致します。
平成十六年七月二十四日第二十四回の総会を大阪弥生会館で開催致しました。

今月初の企画で総会前に隅田博(第一回卒)先輩に卓話をお願い致しました。(中国事情について(日産自動車販売株)の顧問として中国市場開拓のお話を聞き大変勉強になりました。今後も会員の交流の場として関西在住の方にお話し継続してまいります。

第一部総会は、家宇治校長をはじめ六名のご来賓、関西支部会員三十名出席のもと、後藤支部長の挨拶で始まりまして。

平成十五年度会務会計等報告、次年度計画等異議なく了承いただきました。

第二部(懇親会)で来賓の紹介、ご挨拶を頂き、学校並びに同窓会の現状について報告がありました。

家宇治校長より、「質実剛健」文武両道道徳教育に力を注ぎ、進学・スポーツの活躍等報告がありました。母校の確実な発展状況を知り大変誇りに思いました。

その後、恒例の抽選会が行なわれ、楽しい一時を過ごし、盛会のうちに総会を終了致しました。

今年第二十五回目の節目を迎えます。

関西在住の卒業生も年々増加しております。進学も関西地区大学入学も増加傾向にあります。若い人が同窓会に参加される環境づく

くりをいかにするか再検討しなければならぬと考えております。

関西在住の卒業生の皆さん、同窓会活動を進化させて、関西ネットワークづくりをしませんか。気軽に関西支部の行事に参加して下さい。

平成十七年の主な行事予定は、二月五日(土)新年会・四月二日(土)桜を楽しむ会・六月四日(土)昼食のテーブルを囲む会・七月二十三日(土)第二十五回総会を予定しております。

多くの方が参加されますと、グット・アイデアが生まれます。「会員による、会員のための楽しい同窓会」としてゆかいな、楽しい、関西支部の活性化を計りたいと思っております。

ご支援とご協力をお願い致します。
(関西支部)
副支部長
小嶋久夫

関西支部のみなさん



鶴友会



鶴友会の近況

福岡市の職員で構成する「鶴友会」の平成十六年度総会は、10月29日中央区天神の中華料理店「平和楼」で開催しました。

第一部の総会では、平成十五年度の決算報告、監査報告、平成十六年度の予算案と予定どおり進み、最後に役員選任で武藤会計監事の就任が承認されました。第二部の懇親会では、家宇治校長先生が

修学旅行引率のため、学校から上村教頭先生をはじめ三名の先生、同窓会から山下、郡田岡副会長、そして鶴友会の顧問である大濠出身の福岡市議会議員のご臨席をいただきました。林会長の挨拶ののち、上村教頭先生からは、高校入試や大学への進学状況などの学校の近況を伺いました。その後、ご来賓各位にご挨拶を頂き、山下副会長の乾杯の音頭で懇談が始まりました。

懇談中に、相良先生より校友会活動の詳細な報告があり、文武両道を目指す母校での体育部の活躍を頼もしく思いました。ただ、駅伝部や硬式野球部が京都や甲子園で活躍する姿を久しく見ることができないのが残念で、今後を期待したいところです。

懇親会の締めは、全員で輪を作り村上先生のご発声で校歌を歌ったのちに、「博多手一本」を最後に懇親会を終えました。

懇親会は、和やかななかご来賓の方々とも会員相互との十分な親睦と情報交換ができました。しかしながら、仕事で忙しいのか出席者が少なくやや寂しさも感じられました。会が盛り上がるためにも多くの会員に出席していただきたいし、そのため会員が出席しやすい時期への変更なども必要かと感じております。

今後とも会員相互の情報交換をより密にし、より良い同窓会となるように努力していきたいと思っております。

鶴友会のみなさん



大濠つつじ会



大濠つつじ会は、久留米市を中心とし、その周辺佐賀県の一部を含めた支部です。大濠つつじ会は、平成16年9月25日土曜日午後6時30分から、定例の総会を開催しました。会場は久留米グリーンホテルです。西鉄久留米駅とJR久留米駅のおおよそ、中間あたりに位置するホテルで、会員が集まりやすい場所です。総会では、事業報告・会計報告が行なわれ、事業計画・予算案等が審議されました。

懇親会では、恒例になっているジャンケンゲームが、自己紹介も兼ねて楽しく行なわれました。このジャンケンゲームは、並べられた、おみやげを、ジャンケンで勝った順に、自由に選べるものです。

会員は、ジャンケンをする前に、近況報告も含めた自己紹介を行います。この紹介で、会員同士をより知り合うことができます。また、用意されたおみやげが、会員の楽しみにもなっています。

久留米市、近郊にお住まいのみなさん、一度大濠つつじ会にご参加下さい。八月下旬から九月上旬にかけて久留米グリーンホテルに、ご確認いただければ、詳しいことがわかります。大濠つつじ会 会長 竹間宗磨

つつじ会のみなさん



福大医学部



進学校とインターハイ

福岡大学医学部支部長
高木忠博(十五回卒)

福大の入試の偏差値は毎年上昇しています。ご多分に漏れず医学部の偏差値上昇はエツと驚く程になりました。今迄は福岡大学と久留米大学2校合格すれば久留米大学の方へ学生は入学していました。しかし最近はその人間が当校の方へ入学する様になりました。そして大きな変化は出身高校がドンドン全国版になってきている事です。灘開成高校卒は流石に居ませんが進学校と言われている全国有名高校の人間は大体居る様です。最近の特徴は長崎青雲高校、佐賀弘学館高校、西南高校が11、5人程の大量入学者を出して来ます。付属大濠からは3、4人と劣勢です。一時期は5、7人程は必ず合格していましたが最近では減少気味なのが気になります。小生は後輩達に我々大濠人は福大直系の医学部生であると話しますが、この調子だと声が自然に小さくなりそうぞ悔しい限りです。そこで進学校と運動クラブ活動と言言葉に付いて少し考えてみました。野球、サッカーなどインターハイスポーツでは各高校間はグラウンドで競争しますが、入試も全く同じで大学と言うグラウンドで入学試験と言っ点数競争をしているに過ぎません。基本競争原理は全く同じだと思います。そしてどんな勝負でも勝たねば意味がありません。負け犬の遠吠えでしょうか、「過程」を結果よりも優先して重視する人間がいまが小生には、言い訳にしか聞こえませんが最も大事な事は、結果だと思います。「過程」も色々な大切な教訓を教えますがこれには面倒で正体不明の「主観」と言つものが入り、一番大事な結果の影が非常に薄くなつてしまふ傾向があります。しかし「結果」には主観の入る余地が全く無いので非常に現実的且つ具体的な教訓を教えると思います。人

より一歩先の結果を出す義務を果たす。」と言つ体験が青年期には必要と考えるならば偏差値競争も競技競争と呼び名は違いますが本質は全く同じだと思います。進学校と言言葉は偏差値競争の勝者の呼称でしょうが本来の進学校の意味は、社会の中で生産的活動の種を創造し自由と義務と責任の關係と意味を十分理解し履行する素養を確実に身に付けさせて知識に対する好奇心を持つて次の最終高等教育機関の大学に如何に多数送り出したか？が進学校の本来の意味に変わつて行くと思ひます。戦後は卓越した処理能力を持つ「秀才」を必要とした状況が日本には続いて来ましたが、そして遂に先進国の仲間アジア人として初めて入る事を日本は達成しました。しかしその成功した戦後教育の制度疲労の限界が噴出した状況が今の日本の教育の現状ではないでしょうか。それが、リーダーが居ない。」と言言葉の中に今迄の教育の壁が集約されて語られている様に思ひます。小生は今後多分中等学校間の競争で生き残る教育機関の哲学には次の二つに大きく分類できる様に思ひます。リーダーを作るか。基礎レベルを支えるか。ではないでしょうか。我々大濠高校は今迄は、の社会的一翼を担う事しかチャンスを買いませんでしたがそれを大濠は十分達成して来た高校と思ひます。しかし小生は大濠人の多くは成人して必ず何処かの分野でリーダーの仕事をしている人間が非常に多い様に思ひます。何故か？と考え小生なりに分析してみました。それは我々大濠人が無意識の内に男子として成すべき義務と責任に付いては伝統的に逃げる事なく正面から背負う事を常識とする価値観を大濠の教師が繰り返し教育して来た様に思ひます。絶対に卑しくあつてはならぬ男子たる者正々堂々と毅然と物事に対して覚悟を決めてぶち当たれ！は耳に聒聒が出来るほど強要されて来た大濠の底流に流れる伝統の価値観の様だと思ひます。本物の、の選択達成は大変な労力を要する第一級の高等な事業です。労多くして微々たる結果しか生まない長い

時間を必要とする地道な事業です。本来教育とは国家百年の計。と言ひます。欧米先進国の言う自由な教育の概念ではこの1の為の教育哲学は数百年の歴史を有しその結果を今でも出し続けています。先進国ではこの教育の中核の仕事は全て私学が進んでいきます。日本の教育が先進国の常識に1000年掛かつてヤツと教育の役割分担の意味を理解したのが現在ではないでしょうか。例えば東大教授の出身高校の多くは開成高校出身で阪大の教授の出身高校は多くは灘高校になつて居るそうです。全部私学出身者です。地方の国立大学教授は終戦当時と同様に昔の名門公立高校出身者が多いようですがそれでも私学出身教授が増えています。福大も然りです。しかし今日本を中心で動かしている人間の出身高校は私学の人間が圧倒的に多い状況になつて居る様です。自由の教育には義務と責任とリスクが伴う事、を yes と宣言し行動する教育集団の私学が存在すると言つのは成熟した一級国の教育常識が在る証なのかもしれません。そしてこの事が常識的に理解できるか否かは国家の完成度を見る一つのバロメーターになつて居るのではないのでしょうか。私立福岡大学付属大濠中等学校はこの使命を十分に認識すべき時にあるのではないのでしょうか。大濠はこの命題に決して怯む事のない集団に成長していると確信します。寧ろ万が一怯んだ様な行動を取れば大濠の歴史に自ら唾を吐いた事と同じになると考えます。小生は福岡大学医学部一回生の大濠人として支部後輩を上記の哲学で引つ張つて行きたいと思ひます。支部長である小生の評価は自分と同じ鼻づが強い優秀な後輩大濠人がしてくれれば信じます。そして必ず小生の行動結果をシッカリ分析して新しい次の時代を彼らが義務と責任を認識しリスクを背負つて確実に切り開いて行つてくれると思ひます。小生は21世紀になりヤツと私学が私学らしくある事が受け入れられる教育環境が整つた時代が来たと思つて居ます。チャンス到来です！

11回40周年

平成16年11月6日(土)、セントラルホテル福岡にて、昭和39年卒業第11回卒業(40周年)同窓会を開催しました。来賓として、家宇治校長、郡田副会長にご出席いただきました。

卒業して40年にもなると、前回(35年)、前回(30年)と比べますと、出席者が減つてきています。その辺がちょっと寂しいところですが、特に今回は、恩師の先生の出席が無かつたことが残念でした。

最初に家宇治校長より、母校の近況の中で後輩達の文武における活躍を拜聴しまして、頼もしく感じました。その後、懇親になり、遠くまでいく学生時代を思い出しながら飲み交わしました。

懇親しながら、一人づつ近況報告をしていただきましたが、みんなそれぞれ仕事の仕事、会社のPR、まだまだ第一線で頑張っている近況や経営者としてバリバリ踏ん張っている同級生もいたり、娘さんの花婿募集をされる方がいたり、孫の話をする人、ほちほち定年を間近に第二の人生の事を語られる同級生など、人生いろいろ」という歌がありますが、つくづくみんな頑張っているな」と感じました。欠席者の近況報告にも、国内や海外出張予定の忙しい企業人、転勤していつ帰れるかわからないといった声、七転八起の人生の、経営上の問題で苦戦中の同級生など、大濠魂で頑張つて下さいとエールを送りたい気持ちです。

仕事の事、家族の事、これからの人生の事、みんないろいろ悩みながらも旧交を深めながら、最後に輪になって、声高らかに校歌を斉唱し、再会を約束してお開きしました。

また、家宇治校長には最後までお付き合いいただきまして、ほんとうにありがとうございました。

平成16年12月21日

第11回卒業幹事 藤川次宏

一六会

酷暑続きの夏。

どうゆうわけか、この日にあわせたように、へんてこな台風がやってきた。

8月1日 何故か、この日だけが大雨。70歳にしてゴルフを始められ、一六会ゴルフコンペにもよく参加されておられた、故浅田和俊先生の追悼ゴルフコンペの日である。

よりによって、この日に、台風やら来んでもよからうもんと口走りながらも16回生「一六会」21名、こ多忙にもかかわらず23回生、佐々木徹真議会議員も、セントラル福岡ゴルフクラブ（支配人、川崎啓司、16回生）に集まった。クラブハウスから、どしゃぶりの雨を見ながら、「つん、出来るぢやない」の一言で何事もないかのごとくどしゃ降りの中をスタート。さすが大豪魂。

回り終えるころには、雨も小降りになり、事故もなく無事終了。

結果は、コースを知り尽くした、支配人川崎君が優勝。

表彰式のさいちゅう、外を見て、誰かがつぶやいた。

「何でプレー中だけ、あげん大雨が降るとかないな、浅田先生が怒っとんしゃあ」とばい「それを聞いて、もうひとりと言った。

「読みが浅かねえ。恐怖の国語の授業は受けとらんめえ。嬉しゅうして台風

になって、北上せんで、わざわざ、俺たちば、見に来んしゃったつたい。どしゃ降りの大粒はうれし涙たい。先生らしかろつが。」

「つん、そうやね。」…みんな納得。龍門神社にむかって合掌。

長尾良則



32回20周年

昨年、八月十四日、ホテル日航福岡に於いて卒業して初めての同窓会【32回生卒業20周年記念祝賀会】を行いました。全国各地で異常気象をもたらした酷暑の続く中、久しぶりの再会に95名の同級生が集まりました。青木重夫先生の乾

杯発声の後、楽しい歓談が続き、名札裏に卒業当時の写真を貼り、お互いの変わりように歓声が飛び交い、熱気溢れる会合の始まりとなりました。盆のお忙しい中多数お集まり頂いたクラス担任やクラブ顧問の先生方との再会を懐かしみ、互いのグラスにお酒を注ぎあう光景はとても感激深いものでした。式の進行には36回生の博多華丸君をゲスト司会に招き、軽快なトークの中、皆酔いもまわってきたところで各クラスづつ担任の先生と共に壇上上がり、当時の隠れたエピソードに会場から拍手や歓声があがり、全13クラスからの参加ということもあり大いに盛り上がった同窓会でした。最後には32回生として20年ぶりに校歌を唱い、5年後の25周年祝賀会での再会を誓い先生方と固い握手を交わし二次会へと繰り出して行きました。今回の祝賀会の為にクラス名簿や案内状発送など大濠高校同窓会には色々とお協力して頂き感謝しております。

32回生世話人代表 松岡 潔



華丸と和田先生

特別会員交流会開催

特別会員の交流会が平成

16年11月26日(金)午後6時から福岡国際ホールで開催されました。交流会では、会員から拠出された会費につき報告がありました。また、拠出金の基金を充実させるため会員拡大等をお願いもありました。現在の会員が友人を誘い特別会員に入会してもらおう。そのために鋭意努力してほしいという話がありました。

それから、記念講演会があり、引き続き懇親会です。懇親会では、会員同士の交流を深めると共に、情報交換も行なうことができました。特別会員にたくさんの方々が、入会されますようお願いいたします。

第52回総会のご案内

福岡大学附属 大濠高等学校 同窓会総会 & 懇親会

日時 平成17年5月21日(土) 会場 ホテルニューオータニ博多3階
 福岡市中央区渡辺通1-1-2 TEL092-714-1111
 PM5:30 受付
 PM6:00 総会
 PM6:30 懇親会
 会費 6,000円

楽しいアトラクションを企画しております。ぜひお楽しみ下さい

特別会員年会費・同窓会年会費

同窓会の大いなる発展のために、
 よろしくご協力ください。

同窓会年会費 1,000円
 特別会員年会費 10,000円
 (1口)

納入方法

振替用紙(指定)を用いて最寄りの郵便局でお払込み下さい。

副会長 郡田紀久雄(財政委員長)

変更通知は必ず 出してください!!

住所・氏名・勤務先等の変更について

現住所は、町名番地等変更の場合、すぐご連絡
 ください。

読みにくい氏名・地名にはフリガナをつけてく
 ださい。

変更の箇所を朱書などでお示しください。整
 理上便利です。

【ホームページアドレス<http://www.ohsa.jp>】
 同窓会へのご意見ご要望や同窓生の消息などの
 情報をお寄せ下さい。

「特別会員」申込書

| 氏名 | 卒業年次 | 年 | 回 |
|---------|------|-----|---|
| 住所 | TEL | FAX | |
| 職業・勤務先 | TEL | FAX | |
| 年会費一巻萬円 | | | |

皆様のお知り合い(3人~5人ぐらい)を御勧誘ください。ご協力お願い申し上げます。

訃報



平成十六年十月十日、足利武三先生が逝去された。享年七十八歳。足利先生は昭和三十三年から平成四年の三月まで三十五年間の永きにわたり、英語科の教員として大濠高校にお勤めになった。あの、委員長さんと呼ばれる声、厳しいご指導は今も記憶に鮮明だ。登山家として、山を愛し、写真家として数多くの山の写真を残された。そして何より、教育者として、数多くの大濠人を育てられた。大濠高校の大恩人である。先生の永年にわたる功績を称え、我々数多くの同窓生が受けた師の恩情に感謝しつつ、ご冥福を祈りたい。

編集後記

同窓会の諸兄お元気ですか。小生いささか疲れ気味です。同級生のSは正月そうそう、「大濠はどげんなつとつとや!」と酔っぱらって怪気炎。いやいや、お元気そう。ところで、空前の韓流ブーム、この仕事一段落したら、韓国へでも骨休めにと目論んでおる小生ですが、どうも骨休めにはならないよう。それにしてもチエ・ジウはカワイイ。(W)

